OFIX NEWS

Osaka Foundation of International Exchange News

Autumn of 2023

vol.106

2023年10月15日発行

お知らせ

OFIX NEWS は Vol.101 からオンライン及びメール配信になりました！

オンライン登録は
こちらから

https://www.ofix.or.jp/archive/

OFIX公式キャラクター
ボラちゃん

TOPICS

■ウクライナ避難民通訳サポートデスク開設のお知らせ
■ウクライナ避難民通訳支援人材バンクボランティアインタビュー
■事業報告
■イベント開催案内
いろんな言語の面白いことわざ紹介

ウクライナ避難民通訳サポートデスク開設のお知らせ

大阪府国際交流財団（OFIX）は、ロシア・ウクライナ戦争によって、ウクライナから日本に避難された方々が、文化や生活習慣が異なる大阪で安心して滞在していただけるよう、生活等の相談を受け付ける「ウクライナ避難民ワンストップ相談窓口」を2022年３月に設置しました。また、ウクライナ避難民通訳支援人材バンクを設置し、公共団体等への通訳・翻訳などの言語支援を実施しました。そしてこの度、全国のウクライナ避難民をサポートいただけるように、ウクライナ避難民通訳サポートデスクを開設しました。大阪府以外の公共団体は、サポートデスクを通じて、ウクライナ語またはロシア語の翻訳・通訳サービスを利用することができます。

利用可能団体	• 地方公共団体 • 国際交流協会 • ウクライナ避難民への支援を実施する公的機関等
対応言語	ウクライナ語、ロシア語、英語、日本語
対応内容	ウクライナ避難民への支援に係る行政手続等（例えば、住民サービスや市民サービスに係る説明など）の通訳・翻訳
対応時間	月曜日～金曜日　午前９時～午後５時 ※祝日、休日、年末年始を除く
依頼方法	1. 電話での通訳　※事前申込不要 ウクライナ避難民同席のもと、市町村窓口等からお電話ください。その場で通訳員に繋ぎ、通訳します。 Tel：070-3149-8387（相談専用） 2. オンライン（ZOOM）での通訳　※事前申込要 事前にメールでお申込みください。対応可能な日時を調整し、通訳を行います。 Email：ofixvolunteer@ofix.or.jp 3. 翻訳サービス　※事前相談要 ウクライナ語またはロシア語について翻訳希望の資料等があれば、対応の可否について確認しますので、お気軽にお問い合わせください。 Email：ofixvolunteer@ofix.or.jp

ウクライナ避難民通訳支援人材バンクについて	
登録者数 ※2023年8月末時点	223名
2022年度活動件数	47件
2022年度活動人数	68名

ウクライナ避難民通訳サポートデスク担当者

大阪府国際交流財団（OFIX）では、大阪府外国人情報コーナーで、ウクライナ語、ロシア語のワンストップ相談窓口を実施してきました。そのノウハウを活用し、このたび全国レベルで、ウクライナ避難民への通訳・翻訳支援を開始しました。

ウクライナから避難されてきた方々は、既に1年以上が経過し、当初必要とされた住むところの確保から、徐々に安定した生活や就労等へと活動領域を広げつつあると思います。

私自身、家族を連れて、ロシア、ドイツなどで生活をしてきましたが、地元の行政の方々や、近隣住民の方々のご支援なくして生活できませんでした。今、逆の立場として、少しでも恩返しができればと思っております。

今後、どのようなサポートができるか、関係各団体も趣向を凝らし柔軟に支援体制をアップデートしていくことでしょう。我々OFIXも、ウクライナ避難民に寄り添い、通訳・翻訳を通じて、サポートして参ります。よろしくお願いします。

ウクライナ避難民支援ボランティアインタビュー

今回はボランティア２名にインタビューしました

※呼称は、ニックネームを使用しています。

ミールさん（日本出身）

ミールさんは大阪府内在住で、長年ロシア語の通訳･翻訳の仕事をされている方です。ロシアに留学された経験もあり、ウクライナのクリミアを旅行したこともあります。

どうしてOFIXの活動に参加しようと思ったのですか？

これまではボランティアではなく、長らく仕事として通訳・翻訳をしていました。最近になり、ボランティア通訳として、ウクライナ避難民の方の役所での手続きや下水道・ガスの開設、子どもの入学手続きと授業のサポートなどもしました。それでOFIXの活動にも参加しました。

ウクライナ避難民が最初に来日した時の様子はどうでしたか？

やはり非常事態でしたので、最初に来られた避難民の方は、とりあえず自分の言語（ロシア語またはウクライナ語）が話せる方を探し、問い合わせすることが多かったそうです。また、質問などがあるときに、どこに電話したらいいかわからない状況で、避難民の方は携帯電話もなかったため、色々大変でした。

ウクライナ避難民の多くが抱えている悩みや、困り事などありますか？

英語も日本語も話せない避難民の方がいますので、困っていることの一つは、電車の乗り方です。日本語が話せない、読めない状況ですので、少しの移動で電車に乗るにしても、どこの駅で降りて、どの電車に乗り換えたらいいかわからないため、移動が限られてしまうところがあると思います。また日本の書類は漢字が多く、請求書や役所関係の書類について困っていることが多いです。それと、健康上の不安や精神的なストレスを抱えている問題もありました。

ウクライナの食文化は日本とかなり違う感じですか？

そうですね。私が知っているウクライナ避難民の家族の場合は、ウクライナのお粥、ウクライナの食事をメインで食べている感じがします。パンの食文化ですので、お米を食べる習慣はないです。食材はスーパーにあるものや、黒パンに似ているパンを買います。あとボルシチを作る時の赤カブ＝ビーツです。私が知っている避難民の一人は、ビーツの取り寄せが高くて困っていたところ、地元の駅前のスーパーにビーツが売られるようになって、それを買って作っていると聞きました。ウクライナに家族や親戚が残っている避難民もいますので、日本からウクライナに食料を送りますし、ウクライナからも穀物類やスパイスなどが送られてくるそうです。

心が痛む話ですが、半年前のミサイル攻撃が激しかった時に、ウクライナが停電になったため、日本にいる避難民はウクライナへ電池を送っていたことがありました。現地には電球や電池がなかったことで、日本からわざわざ送らなければならない状況となり、本当に大変でした。

最後に読者に知っていただきたいことはありますか？

避難民の皆さんは孤独を感じていると思いますね。なんとか生活されたり仕事につかれたりで日本でのくらしに慣れてきていますが、母国とオンラインでしか繋がっていない、そして日本で知っている友人がいない場合が多い気がします。もう一つは書籍がほしいことですね。お仕事されていない方は家で時間を過ごす時に、やはり本を読みたいと話していました。私がお子さんに絵本を差し上げたのですが、子どもより保護者の方が本を読むことになって（笑）、本の貸し借りが始まりました。もし皆さんの家に眠っているウクライナ語またはロシア語の本があれば、一つの場所に持ち寄って、避難民の皆さんが来て読む場所があればいいかなと思いました。

ヴィタさん（ウクライナ出身）

ヴィタさんは長年大阪に暮らすウクライナ出身の方です。中学生の頃、ウクライナのテレビでジブリのアニメーションを見て、その不思議な世界観に惹かれて、日本語を勉強し始めました。大学3年生の時に、交換留学生として大阪に滞在し、一度帰国した後、また仕事のために来日しました。

ウクライナ人材バンクに登録した理由は何ですか？

元々日本の会社にフルタイムで働いていたのですが、ウクライナで戦争が始まって、少しでもウクライナやウクライナから避難してこられた方々のお役に立ちたいと思って、仕事の日数を減らし、ボランティア活動に参加することにしました。

ウクライナ人材バンクに登録されて、どのような活動をしましたか？

主に翻訳が多いですが、翻訳以外に、他のボランティアさんが翻訳した内容をチェックすることもあります。また、最近は、ウクライナ避難民通訳サポートデスクの通訳員にも登録し、通訳活動も始めました。

翻訳は具体的にどのような内容が多いですか？

役所関係の避難民向けの情報や、教育制度についての説明資料などが多いです。例えば、日本の教育制度にはどのような特徴があるのか、学校を卒業した後に、どのような進路があるかなどについて紹介する資料もありました。

OFIX以外に、ウクライナ避難民の支援活動に参加されていますか？

日本のウクライナ人コミュニティは狭いので、お互い知り合い同士が多く、何かイベントがあったらお誘いの連絡をもらい、お手伝いすることがあります。戦争をきっかけに、しばらく関わりが途切れていたような方でも、また繋がって一緒に協力して、何かを企画するようになりました。例えば、ウクライナのことをもっと知ってもらうために、ウクライナの文化を紹介するイベントを開催したり、ウクライナ語講座を行ったりと、皆さんそれぞれ自分が住んでいる場所で、自分ができること、得意なことで、ウクライナのことをより多くの方に知ってもらえるように活動されていると思います。

ウクライナ避難民が抱えている悩みや困り事はありますか？

母国で戦争が起きているということによる辛さや不安はもちろんですが、そういった感情を抱えながら慣れない場所で生活をすることになり、皆さんが多くのストレスを抱えていると思います。さらに、言語も文化も異なっているため、日々困ることがたくさんあると思います。

全面戦争が始まった2022年2月24日で時間が止まったように感じる方が多いですが、物理的な時間が止まったわけではないですし、人生は続いています。そのため、ただじっとしているわけにもいかず、生活のためにも仕事をしないといけないのですが、いまだに仕事が見つかっていないウクライナの避難民の方が多いようです。

就職が難しい理由は何ですか。やはり言語が大変な感じですか？

言語の問題が大きいと思います。あとは、文化の違いがあります。たとえ就職ができたとしても、なかなかうまく馴染めない方もおり、文化の違いや日本のマナーについて学ぶ機会があれば、より馴染みやすくなるかもしれません。そしてもう一つの悩みですが、ウクライナ避難民は避難民として日本に滞在しているので、どこまで長期的な就労を目指せるのか、どのぐらい先まで自分の人生の計画を立てたらいいのかということが非常に見えづらい状況にも困っていると思います。

ウクライナの職場の文化と日本の職場の文化の違いは何ですか？

私自身の経験ですので、全員に当てはまるかどうかはわかりませんが、やはり難しく感じたのは「場の空気」というものです。察しなければいけない、自分で雰囲気を見て、状況を判断しなければならないことが結構難

しいと感じました。そして、日本の「直接言わない文化」もウクライナ人にとって少し難しいと思います。丁寧で柔らかい言葉や表現を選んで、遠回しの言い方をすることが多いのですが、ウクライナではより直接的に、はっきり話す場合が多いので、そういうところも難しいかもしれません。

最後にシェアしたいことがありますか？

戦争前、日本で本屋に行った時には、ウクライナ関連の本をほとんど見かけなかったです。大きい本屋でも、ロシア関連の書籍の棚に、少しだけウクライナの本も一緒に入っていた場合が多かったので、何とかしてこの状況を変えたいと思っていました。戦争をきっかけに、日本に住んでいるウクライナの方々がウクライナの文化をより広めるために、活発に動き出したような印象を受けています。最近はウクライナ語の教材も出版されましたが、今後もウクライナの本や教材がたくさん日本で出版されて、いつか本屋でウクライナだけの大きなコーナーができることを夢見ています。

今一番望んでいるのは、ウクライナに平和が戻ることですが、その後のウクライナの復興や発展についても前向きに考えたいと思います。

ウクライナの気候と日本の気候は似ていますか？

似ていないですね。大阪に限らず、日本全体もそうだと思いますが、湿度がとても高く、空気がジメジメしているので、今でも慣れないです。ウクライナの夏は、暑い時もありますが、夜になったら一気に涼しくなるので、過ごしやすいです。

食習慣はどうですか。日本とかなり異なりますか？

ウクライナでは生のものを食べる習慣はないですし、調味料もかなり異なります。例えばウクライナでは「砂糖はデザートに使うもの」というイメージが強いのですが、日本では色々な料理に砂糖を入れることにびっくりしました。

ウクライナでは食べられなかったものを、日本に来てから食べられるようになったものはありますか？

今はほぼ何でも食べられますね。ウクライナにいる時はタコとか、見た目では食べられないと思っていたものも、食べてみるとおいしかったです。寿司や刺身も大好きです。

事業報告

7.10[月] 9.20[水] やさしい日本語研修会

７月10日（月）に、やさしい日本語の普及と取り組み事例紹介をテーマに、行政職員向けのやさしい日本語研修会を開催しました。

今回は２部制で開催し、第１部は岸和田市国際親善協会の副会長 東田和代様と事務局長 西村令子様が、冊子「やさしい日本語を使いましょう」の作成におけるエピソードを中心に、冊子を使った研修方法や岸和田市との連携等についてご紹介いただきました。

また、第２部は大阪府府民文化部都市魅力創造局国際課総括主査 浅田英里子様が大阪府国際課の「やさしい日本語」の取組みをご紹介いただきました。

９月20日（水）に、ペトロ株式会社でやさしい日本語研修会を開催しました。神戸YWCAの講師福井武司様よりやさしい日本語の基礎の講義と実践紹介をいただきました。参加者の皆様から大変勉強になったという声が多く寄せられました。

9.7[木] 2023年度「外国人材受け入れのため聞いておきたいお話」

９月７日（木）に「外国人材受入れのため聞いておきたいお話し」を開催しました。

大阪出入国在留管理局の友森啓介様より、外国籍の方を雇用する際の、必要かつ基本的な在留資格に関する知識のご紹介と、日本で働いでいる外国出身者３名（中国、韓国、ベトナム）の経験を語ってもらいました。

大阪外国人材採用支援センターの担当者も来場し、中小企業における外国人材の採用に関する様々な課題解決を支援するサービスについてご紹介いただきました。

9.8[木] 大阪出入国在留管理局 インターン生の研修発表会

８月24日（木）から９月８日（金）まで約２週間、大阪出入国在留管理局の職員１名がインターン生としてOFIXで研修を行いました。他団体の見学やOFIXで実施している事業へも参画し、最終日の発表会で、OFIXでの研修経験での気づきと今後の展望についてお話しいただきました。

9.22[金] 2023年度ウクライナ避難民通訳サポート研修

OFIXウクライナ避難民通訳支援人材バンクに登録されている方と登録希望の方を対象に、９月22日（金）オンラインでの研修を開催しました。

今回は特定非営利活動法人神戸定住外国人支援センター（KFC）のコーティネーター 櫻木晴日様を講師に、日本に避難してきたウクライナの方の現状とボランティアとして心がけることについてご講義いただきました。また、コミュニティ通訳と通訳員の役割についてもお話しいただきました。

為替詐欺注意喚起動画を公開しました！

在阪外国人の皆さんは、詐欺の疑いについて相談したい、またはご質問がある場合は、以下にご連絡ください

最近在留外国人を対象に、為替取引詐欺が多発しています。
注意喚起動画を公開しましたので、ぜひご覧ください。

OFIX YouTubeチャンネル「為替取引詐欺にご注意ください！」
https://www.youtube.com/watch?v=6F1TzOrytFg

大阪府外国人情報コーナー（13言語対応）
https://www.ofix.or.jp/life/japanese/
Tel: 06-6941-2297
Email: jouhou-c@ofix.or.jp
※メール相談は日本語、英語のみ

詳細については、後日OFIXのHPに掲載予定です。

10.22[日] Asia Week 2023

Asia Weekは、教学コンセプト「アジアのゲートウェイ」のもと、グローバル展開およびキャンパス創造を地域に還元する大学と地域の国際交流フェスタです。研究報告、スポーツ体験企画、アジア料理の出店等多数のイベントを開催予定です。OFIXのブースもありますのでぜひご参加ください。

日　時：2023年10月22日（日）10：00〜16：00
場　所：立命館大学大阪いばらきキャンパス

11.5[日] 四天王寺ワッソ2023

大阪を舞台に繰り広げられた日本と東アジアとの友好の歴史を再現し、若者の躍動感あふれるパフォーマンスで現代の交流を表現します。みんなでワッソを楽しみましょう！

テーマ：古代と現代の国際交流
日　時：2023年11月5日（日）10：00〜16：00
場　所：史跡なにわの宮公園
（大阪市中央区法円坂）
入場無料！ https://www.wasso.net/

11.6[月]-11.16[木]

吹田市国際交流協会（SIFA）公益財団法人移行10周年記念事業

SIFAは今年で10周年を迎えるにあたり、国際交流関連での思い出の品・写真展を11月６日（月）から11月16日（木）まで開催いたします。また、11月11日（土）に、公益財団法人移行10周年記念式典を開催いたしますので、ご興味のある方は、SIFAのホームページをご覧ください。 https://suita-sifa.org/sifa/10th-anniversary/

11.23[木・祝] 第24回ふれあい交流祭り

今年もふれあい交流祭りを開催します！いろんなイベントに参加し、国際交流を楽しみましょう！

日　時：2023年11月23日（木・祝）13：00〜16：00
場　所：国際交流基金　関西国際センター
（大阪府泉南郡田尻町りんくうポート北３-14）
入場無料！

いろんな言語のことわざ紹介

今回はウクライナ語、ウイグル語と広東語のことわざを紹介します。ウイグル語と広東語のことわざの意味は、10月17日（火）にOFIXのFacebookとX（旧Twitter）で発表しますので、ぜひチェックしてみてください！

ウクライナ語

Всюди добре, а вдома найкраще.

⇒ どこも良いが、一番良いのは我が家。

意味は英語の「There’s no place like home」ということわざに近いです。どこに行っても楽しいことや面白いことがたくさんあるかもしれませんが、自分が生まれ育った故郷に勝るものはないという意味のことわざです。色々なところを訪れるのは楽しいことですが、自分の家は、たとえ平凡であっても、一番居心地の良い大切な場所です。

ウイグル語

بۇغداي نىنىڭ بولمۇسمۇ،بۇغداي سۆزۈڭ يوقمۇ

(bughday nening bolmisimu, boghday sözung yoqmu?)

【ヒント】直訳すると：「小麦のナンがないのだとしても、小麦の粒ぐらいさえもないというの？」です。

広東語　偷雞不著蝕把米

【ヒント】直訳すると：「鶏を盗むことができなかったあげく、お米まで無駄にした」です。

OFIX 賛助会員募集中！

法人1口 年額 50,000円　個人1口 年額 3,000円
https://www.ofix.or.jp/donate/

- ◆OFIX発行の印刷物、報告書その他の刊行物を無償又は優先的に提供
- ◆OFIXの事業活動や国際交流に関する情報等を掲載した「OFIXニュース」（季刊）や報告書（年1回）の送付
- ◆バナー広告の掲載料金を半額で提供（2口以上の法人会員様）

※公益財団法人に対する寄附金の税法上の優遇措置適用

OFIXホームページ バナー広告募集中！

日本語ページ　1枠1か月 10,000円（税込）
https://www.ofix.or.jp/banners/

英語ページ　1枠1か月 5,000円（税込）
https://www.ofix.or.jp/english/banners/

OFIXニュースへの感想・ご意見等お待ちしています
▶info@ofix.or.jp

JICA大阪デスク@OFIX
OFIX事務所内に「JICA大阪デスク」を設けています
TEL: 06-6966-2400
E-mail: jicadpd-desk-osakafu@jica.go.jp

アクセス

公益財団法人 大阪府国際交流財団（OFIX）
〒540-0029 大阪市中央区本町橋２－５ マイドームおおさか5階
TEL：06-6966-2400 FAX：06-6966-2401
ホームページ: https://www.ofix.or.jp/